

令和2年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		16
部	子ども健康部	課	子ども支援課	

1. 指定概要

施設概要	名称	安土第1・第2こどもの家		建設年	平成16年 (平成26年増築)	
	所在地	近江八幡市安土町小中783番地1		利用対象	地域	
	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。				
	規模	敷地面積968㎡、延べ床面積241㎡、階数 地上2階				
	指定管理開始年度	平成17年				
指定管理者	名称	学校法人ヴォーリス学園				
	所在地	近江八幡市市井177				
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ①こどもの家における放課後児童健全育成事業の実施に関すること ②こどもの家への入所の承諾及び承諾の取り消しに関すること ③こどもの家の保育料の徴収に関すること ④こどもの家の施設及び設備の維持管理に関すること ⑤管理運営に関し、市が必要とする報告書の作成を行うこと ⑥その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務 					
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日 (5年間)					
指定管理料	平成30年度: ー 千円	平成31(令和元)年度: ー 千円	令和2年度: ー 千円	令和3年度: ー 千円(見込)		
利用料金制	採用している	選定方式	公募	応募者数	1者	

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和2年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	①施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	①施設の維持管理及び整備を実施 ・ 日常の掃除、施設の安全点検、除草作業等、指導員が随時実施 ・ 保護者会の奉仕作業の実施	(よかったと評価できる事項) ・ 児童の安全確保に努め、適切に施設の維持管理を実施した。 ・ 設備の不具合や修繕についても迅速な対応を実施した。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(施設サービスの運営上業務)	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換、保護者会や学年懇談会を通じて意見交換を実施。その他学童だよりや送迎時の日常的なコミュニケーションによる。 ②利用料金の徴収 毎月徴収 令和2年度9,930千円 (第一4,886千円/第二5,044千円) 現金取り扱いの事故防止の観点から、口座振替を利用。 ③学校、保育所等との情報交換 必要に応じ随時実施 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長 19時まで延長保育の実施	(よかったと評価できる事項) 特になし
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(提案内容の自主事業 その他の業務)	なし		(よかったと評価できる事項)
				(改善を要した事項と対応)
				(課題)

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	(安土第一/安土第二) ・開設日数: 268日/ 267日 ・延べ利用者数: 7,988名/8,275名 ・平均登録児童数: 47名/ 48名	(よかったと評価できる事項) 特になし
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和2年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	安土第一/安土第二 ■収入 (11,547千円/13,520千円) 保育料等 6,180千円/ 6,420千円 業務委託料 5,367千円/ 7,100千円 ■支出 (11,546千円/13,520千円) 人件費 10,517千円/11,950千円 管理運営費 1,029千円/ 1,570千円	安土第一/安土第二 ■収入 (12,098千円/13,887千円) 保育料等 4,886千円/ 5,044千円 業務委託料 7,212千円/ 8,843千円 ■支出 (12,098千円/13,887千円) 人件費 10,258千円/12,153千円 管理運営費 1,840千円/ 1,734千円	保育料の徴収について口座振替を導入し、事故防止に努めている。 (改善を要した事項と対応) 特になし (課題) 特になし

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	施設内に意見箱を設置、ならびに保護者会にも参加し、意見集約をしている。
評価頂いている内容	「支援員が子どもたちの輪に入り、遊んでいる姿・関わっている姿をよく目にする。有難いし、安心して預けられる。」「(息子・娘が)楽しく学童に通っています。」「宿題を見てもらえて助かっている。」「(子どもから)学校は行きたくないと思うけど、学童には行きたくないと思わないことがない。子どもたちが好きな場所として努めて貰っている。」との声を頂いています。
苦情・意見等	「人数が多くて大変なのは理解していますが、トラブルの際はもう少し子どもの声(思い)に耳を傾けてほしい」「学童で宿題が終わっていない。」「マスクをせずに迎えに来られる保護者がいる。注意喚起してほしい。」など。学童で対応してほしいこと。 「人数に対し、施設が狭い。コロナ過なのに密を避けられない」施設に対してのこと。 「駐車スペースが狭く危険。」「学童までの道幅が狭く、迎え時混雑して危険。」駐車場、学童付近の道路環境に対してのこと。 「本室の二階からの避難梯子ではいざという時に避難できない。」「子どもたちの遊ぶ場所が狭い。本来ならしなくてもいいケガ、トラブルが多いと感じる」など。施設への安全性に対してのこと。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

今年度も106名と施設に対し、適正規模人数を超えての児童を受け入れており過密状態のまま保育をしている状況は変わっていない。『支援員の目が全体に行きとどかず、子どもの様子を把握できない』『騒々しく落ち着けない』『ささいなことでケンカになる』『遊びや活動を制限せざるを得ない』という支援員・補助員の声はここ数年経っても変わっていない。引き続き、児童クラブ室の増設を実施していただき、適正規模での運営ができるようにしていただきたい。また、施設の安全管理・維持管理をしていく中、改修・修繕が必要な際には事業者任せではなく、市の責任のもと迅速な対応をお願いしたい。

6. 指定管理者の自己評価コメント

児童数が非常に多い中、支援員・補助員が柔軟に対応しており、地域の子育て支援としての責務を果たしていることが最も評価できる点と考えている。また、子どもたちの多くが学童を楽しんでいると感じており、保護者もおおむね良い印象を持っている。ただ、子どもたちの活動や遊びに制限が必要になっていることや、大人数の受け入れにより安心・安全な生活環境の保障が引き続き難しいことが課題と感じている。
新型コロナウイルスの対応に翻弄された一年だったが、支援員・補助員が献身的に務めたことも評価できる点と考える。これからも子どもたちや保護者と共に、地域の子育て支援を育むよう努めていく。

7. 所属の総括コメント

新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休校時には、午前中からの開所を実施する等、日々、最大限の感染対策をしながら、保育体制を整えていただいている。子どもたちの安心・安全な過ごしのため、今後も継続した感染防止対応をお願いしたい。
児童数の増加及び学童ニーズの増加により、定員を超えての受け入れを実施している状況が続いているが、支援員の増員や保育の工夫により、大きな事故なく児童の安全確保等適正な運営をしていただいている。また施設の補修や修繕にも力を入れ、適正な施設管理を行ったと評価している。